



KOKORO LETTER

広 報

特集

作業所そこは、居場所、繋がる場所、
多様な人が活きる場所

相談電話	052-931-4343	365日	24時間
ナビダイヤル	0570-783-556	受信	受信
フリーダイヤル	0120-783-556	毎月	10日
インターネット相談	いのちの電話ネット相談 <input type="text"/> <input type="button" value="検索"/>		
http://www.inochinodenwa-ne.jp/			

Contents

作業所を訪ねて	2・3
電話相談現場から「未熟な相談員の緊張」	4
インフォメーション	4
紹介：身近な自死遺族支援機関	4

NAGOYA INOCHI NO DENWA

「作業所」そこは 居場所、繋がる場所、多様な人が生きる場所

日々の電話相談の中で、よく耳にする「作業所」とは、障がいを持った人たちが就労しながら一日を過ごす事業所のことです。そこで起こるさまざまな出来事を話されることも少なくありません。時には人間関係の悩み、社会での生きづらさ、行きたくないけど行かないで家にいるのも辛いといったお話もあります。私たちの生活の中ではこのような事業所との接点は少なく、相談者として利用者への理解が十分でないと感じました。どんなところで、どのように過ごしているのか、訪ねてみることにしました。



たんぽぽハウスの紹介

訪ねた事業所は稲沢市社会福祉法人「たんぽぽハウス」。四方八方田園で見晴らしがよくのどかで、五月の風が爽やかに吹きわたる場所にありました。建物内に入ると新築の木の香りとハーブの香り、作業室は広くオープンで、テーブルにはカモミールのかわいらしい花が並べられていました。

きっかけは30年前、重度障がい児を持つ親御さん数名が集まり学習会を始めたことでした。自分たちの子どもが就学後に社会と関われる暮らしの場を作りたいとの思いがありました。当時、重度障害の方が安心して集える場がなかったそうで、「自らの手で作るしかないと思った」と、当時から関わってこられた親御さんの一人が話されました。資金集めにも奮闘し、空き缶収集やバザーを繰り返しながら、今日の姿になるまでご苦労が耐えなかったことを、言葉の隅々に感じました。今では地域の喫茶店に作業所で作成した商品を並べてもらっているそうで、地域に根差した事業所にまで成長したことがうかがえました。



3名のお母様に話を聴かせていただきました。設立からいっしょに70代の方のお子様は30代のダウン症の娘とのこと。「平成とともに（ここまで）やってきたわね」から始まるその声は明るくうれしそうでした。長い間、苦労してきた道のりを感じさせないものでした。

30年前、たった2人で声を掛け合って繰り返した学習会、空き缶集め、バザー、それが今では広大な土地に畑も駐車場も平屋で2棟もあるすてきな子どもたちの居場所となりました。お母様たちは、自信に満ちた「さあ見て下さい」と言わんばかりの笑顔でした。何かご苦労はと伺っても、「ボランティアと皆が力を合わせて広がっていきました」「特にはないです。本人たちも嫌がらないでここに通ってきてますし、今までのことを考えたら、本当に楽になりました。」と話していました。

終始穏やかに話をされる親御さんたちは、尋ねても苦労話はしないで出てくる言葉は周囲への感謝ばかりです。「苦労はあったけれど、かけがえのない仲間との絆を手に入れることができた、本当にやってきてよかった」という内容のものばかりでした。心中色々あるはずと思いますが、それをさほどのことと思わないくらい充実したものがあつたのさだろうと感じました。

最後に、「私たちももう歳をとりましたので将来的にあの子たちの暮らしの場を用意しておけたらいいなと思っています。グループホームみたいなものです」と話していました。

訪ねてみて

帰り道、親御さんの「たんぽぽハウスは家ではなくて、もう一つの素敵な環境で、その子に出来ることを考えてくれる活動の場であり、重度障害をもつ家族にとって『誇り』なのです。」とおっしゃったのを思い出しました。その「誇り」という言葉が、とても生き生きとしていて、私の心に残りました。(広報委員 A)

人の存在は、そこに価値があるとかないとかではなく、誰もがそこに在ることで誰かのよろこびや助けになっているように思いました。共生とか共存とかいう言葉をつけたとしたらそれなのだろうと思いますが、そんな言葉も要らないほど自然体の場所を感じました。(広報委員 B)

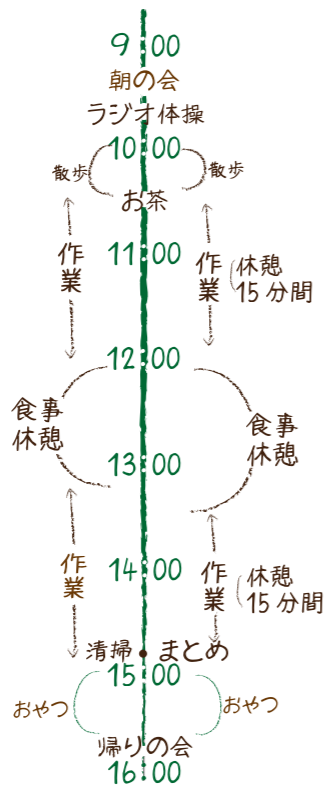
たんぽぽハウスでは、電話相談で話題になるような状況は見受けられず、作業所も利用者の障がいの度合や、公的支援の状況、周囲の環境によって、多種多様なようです。よく電話相談で、「私は就労できないどころか自分の面倒すらみれない、生きている価値がない」と耳にします。ここの重度障害の方たちは、どうでしょうか？ 彼らは、周囲に手間をかける存在かもしれませんが、親御さん達は、関わる中で「かけがえのないものを手にすることが出来た」、そう話されました。「生きている価値」、これもまた多様なんですね。だた話を聴くだけの私たちの活動が、様々な経験を経て自らの聴く器を広く深いものになり、心に寄り添う活動へと変換されていくのではないのでしょうか、そんな事を考えながら、たんぽぽハウスを後にしました。(広報委員 C)

ホップ



就労継続支援事業所B型（ホップ）の作業は、ハーブの加工でした。どの方も無理なく自分のペースで、自分の力で、自分のときを過ごしているように見えました。職員も穏やかに声をかける程度で、どの方が職員なのか？と思うほどその場に溶け込んで、何かを強いることもなく、大きな声も動作も、それが邪魔な空気もなく自然な感じでした。

一日の流れ



ミント



生活介護（ミント）の作業場には、先に見学した利用者さんよりも重い障がいを持った方がいました。スタンプを押す作業やシュレッダーをかける仕事に集中して取り組んでいました。一人の女性に話かけてみましたが、言葉としての返答はありませんでした。ただこちらが持っていた紙をじっと見つめ・・・沈黙の会話があるように感じました。





電話相談の現場から ④

未熟な相談員の緊張



電話室に、緊張して入ります。席に着き、受話器を確かめて待っていると電話がかかってきます。呼び出し音を2回ほど大きな受話器をとって名乗るとき、緊張はピークに達します。ここちこちになって「名古屋いのちの電話です」といいます。自然に口から出てくればいいのですが出てこないで、書いたものを目の前に置き、小学生が教科書を読むみたいに読みます。

ゆったり腰かけたり、深呼吸をしたり、口の中で独り言をいったりして、自分を落ち着かせたりしますが、この緊張はずっと同じです。もう20年ほどたちました。

会社で電話を受けるとき、「はい、こちらは〇〇会社〇〇グループの〇〇です」とハキハキ名乗ります。こちらがハキハキした調子だと利用者によってはギャップを感じるかもしれない、というふう以前思ったことがありました。

そういうこともあるかもしれないけど、本当は、利用者と最初につながるころに異常に緊張があったのです。

自分の感じでは、利用者とながると、相談員の私は「自分の声を相手の反応に聴き取る」という自然な過程に入ることができるようになります。この過程に入ると、自分の言葉は落ち着き先を得るのです。

一般の電話では、初めからこのつながりがあります。会社なら顧客の関係、私的ななら友達の関係というふうには。そこでは、「自分の声を相手の反応に聴き取る」過程は支障なく働いていて、従ってこの過程を意識することはありません。

ところが、いのちの電話で受話器を握る自分と利用者の間には、既存の関係がありません。社会的な立場や役割を離れた所で、自分と利用者が素手で回路をつなぐのです。暗闇の中で、一步を探します。

さて、私の最初の名乗りからわずかな間があり、今度は利用者の方から「いのちの電話ですか？」とお尋ねがあります（「あー」という問いかけだったりもします）。これに「はい」と答えると、一安心です。

S（相談員）1「名古屋いのちの電話です」
R（利用者）1「いのちの電話ですか？」

（「あー」）

S2「はい」

R2「ちよっと悩んでいることがあるのですが、聞いてもらえますか？」

S1で、私はとても緊張していました。

R1は、分かっているのに「いのちの電話ですか」と尋ねてくれます。するとS2で、「はい」と答えることができます。このR1とS2の呼応によって、RとSがつながり、相談に入ることとなります。

（70代男性相談員）

名古屋の障害に関する悩み相談

名古屋市障害者虐待相談センター

TEL 052-856-3003

TEL 052-301-8359 (休日夜間相談窓口)

障害者虐待についての相談

名古屋市障害者差別相談センター

TEL 052-856-8181

障害者差別についての相談

名古屋市発達障害者支援センターりんくす名古屋

TEL 052-757-6140

発達障害についての相談

編集後記

テレビや映画、雑誌、新聞には予め時間の枠やページ、文字に制約があります。編集過程で作り手は、溢れるほどの伝えたい気持ちを、涙をのんで枠の中に収める作業をします。今回の特集も、現場で感じた多くのことを限られたページの中に凝縮しました。紙面を通じてその思いを感じていただければ幸いです。

(広報委員 K)

いのちの電話 市民公開講座

PART1 基調講演

脳科学が語る「生きる」

講師 桑 和彦
名古屋大学 教授

第44回 日本自殺予防シンポジウム 愛知大会
「生きる」をひもとく～より生きやすい社会をめざして～

2019.9.8 (日) 開場 PM 1:00 開演 PM 1:30~4:30
会場 南山大学 G30 教室 **参加無料**

PART2 シンポジウム

「生きづらさ」を考える

コーディネーター 森山花鈴 南山大学 准教授

シンポジスト

- 介護職人の現状 湯原悦子 日本福祉大学 教授
- 虐待を考える 岩城正光 名古屋大学 教授
- 自殺遺族とは？ 花井幸二 愛知県自殺対策推進協議会 会長
- 不登校と睡眠 桑 和彦 名古屋大学 教授

トパネルディスカッション

主催：一般社団法人 日本いのちの電話連盟
共催：一般社団法人 日本自殺予防学会・愛知いのちの電話協会
後援：認定NPO法人 CAPNA (子どもの虐待防止ネットワーク)

事務局：愛知いのちの電話協会
TEL 052-508-8381 FAX 052-508-8384
E-mail info@nagoya-inochi.jp



社会福祉法人愛知いのちの電話協会

名古屋いのちの電話

<http://www.nagoya-inochi.jp/>

よりつながりやすい「いのちの電話」を目指して

愛知いのちの電話協会事務局長 兼 田 智 彦

「いのちの電話はいつかけても話し中ばかり」「3日間電話をかけ続けても1回もつながらなかった」などの苦情をいただくたびに、何とかつながりやすくできないかと考えてきました。

日本いのちの電話連盟では3年前より、毎月10日にフリーダイヤルで行っている「自殺予防いのちの電話」をよりつながりやすくするために、架電状況の調査を行っています。その結果わかったことは、頻回の利用者さんがかなりの回数と時間を利用しているということでした。具体的に言うと、毎月約3000人の利用者がありますが、その内よく利用する上位100の方が利用時間数の約半分を占めているということです。そのため実際につながる割合は数%で20回に1回しかつながらないような状態でした。そこで、頻回の利用者さんには利用制限を

させていただき、現在のつながる率は約50%になりました。つまり、2回かければつながるといことです。

昨年11月～1月の3か月間は「名古屋いのちの電話」でも架電調査を行いました。その結果は「自殺予防いのちの電話」とほぼ同じで、頻回の利用者さんがかなりの時間を使っています。いつでもつながるために24時間体制をとっているのですが、つらい思いをしていのちの電話にかけようとする、はじめての利用者さんが、平均20回かけ続けなかつながらない現実を突きつけられたのです。

今後は「よりつながりやすいいのちの電話」を目指して、具体的な対応をしていかなければならないと思っています。

活 動 報 告

- | | | | |
|-------|-----------------------|-----------|-----------------------------|
| 3月5日 | 27期養成講座説明会(刈谷) | 5月16日 | 27期養成講座開講 |
| 3月7日 | 理事会(2019年度事業計画・予算など) | 5月24日 | 日本いのちの電話連盟総会 |
| 3月16日 | 長年のボランティアに感謝する会 | 5月25日 | 日本いのちの電話連盟事務局長会 |
| 3月19日 | 27期養成講座説明会(半田) | 6月7日 | 理事会(2018年度事業報告・決算) |
| 3月27日 | 評議員会(2019年度事業計画・予算など) | 6月24日 | 評議員会(2018年度事業報告・決算・理事監事の承認) |
| 4月6日 | 相談員全体研修会 | 6月26日～30日 | 平山郁夫展(電気文化会館ギャラリー) |
| 4月11日 | 27期養成講座説明会(豊田) | | |
| 4月25日 | 27期養成講座説明会(名古屋) | | |

社会福祉法人愛知いのちの電話協会 2018 年度事業報告

1. 相談事業

(1) 電話相談

2018年の電話相談は、総受信件数：13,863件でした。これは2017年の13,947件とほぼ同じ件数でした。また、相談員の登録人数は129人で実働相談員93人でした。

電話相談員の研修は継続的に行ってる研修をはじめとして、スーパービジョン、1日研修、宿泊研修などを行い、電話相談員の資質向上と相互ケアを行っています。

電話相談員の養成25期は16人を認定しました。26期電話相談員養成講座には41人が応募し2019年8月に認定予定です。27期養成講座説明会：名古屋・一宮・刈谷・豊田・半田で行いました。

(2) インターネット相談

新しいシステムになり2018相談件数は全国で1618件でした。また、インターネット相談員研修会を2回実施しました。

2. 広報啓発事業

(1) 広報誌の発行を年3回おこないました。一般市民向け広報誌と賛助会員向け機関紙に分けて発行しました。

(2) ホームページとツイッターの充実をはかり

ました。

(3) 社会福祉法人愛知いのちの電話協会ご案内「もしもし、いのちの電話です 心がつらいとき開く本」・ティッシュ+カードなどの配布をさまざまなイベントで行いました。

(4) いのちの電話チャリティバザーを大須観音境内にて11月17日(土)に行いました。

(5) 市民チャリティコンサートを12月1日(土)に栄中央教会で行い参加者は220人でした。

(6) 市民講座を8月26日(土) 若者の自殺予防をCAPNAと共催し、ウイールあいちで行い200名の参加がありました。9月8日(土)には、三晃社ホールで自死遺族支援について講演会を行い80名の参加がありました。

(7) 名古屋市若者自殺対策イベント 8月1日：スマイルデーなごやに参加しました。

(8) 自殺予防デー 9月10日：名古屋駅前でのイベントに参加しました。

(9) イオンイエローレシートキャンペーン：イオン名西店で毎月11日に行っています。

3. 講師派遣事業（傾聴・いのちの授業・自殺予防など）

(1) 名古屋市生涯学習センター講座：年間25回

(2) その他依頼された講座など：民生児童委員研修・傾聴講座など：12回

◆ 2018年度受信状況 ◆

	受信件数	内自殺傾向数	自殺傾向率
通常電話	12,953	1,836	14.20%
フリーダイヤル	779	152	19.50%
熊本震災ダイヤル	131	10	7.60%
総数	13,863	1,998	14.40%
インターネット相談	116	49	42.24%

◆ 平成30年度財務報告（資金収支計算書 経常活動） ◆

資金収支計算書					
	項目		経常活動支出	項目	
	平成30年度			平成30年度	
経常活動収入	補助金	3,804,800		人件費支出	4,304,900
	会費	5,316,000		事務費支出	10,336,081
	寄付金	3,682,891		事業費支出	1,683,276
	登録更新料	105,000			
	講座受講料	750,000			
	受取利息	1,020,122			
			合計	16,324,257	
			収支差額	-1,645,444	
合計	14,678,813		合計	14,678,813	

いのちの電話チャリティ平山郁夫展

電気文化会館東ギャラリー 6月26日～30日

いのちの電話チャリティとして行われた「平山郁夫展」、会場の入り口には「思い出してほしい あなたのそばに立っていたい わたしたちがいることを」のメインポスターのパネルがあり、広報委員によるいのちの電話紹介のパネルでお迎えしました。平山郁夫画伯は1930年に生まれ2009年79歳で亡くなるまで日本画家として、東京藝術大学学長として活躍しました。日本文化の源流を求めてシルクロードを歩き、仏教伝来の道、東



西文化交流の道を訪ね歩き、多くの作品を描きました。

今回の作品展では平山ファン

が多く来場され、平山郁夫の世界を堪能されました。5日間の来場者は約1,000人でした。ご来場された皆様にはいのちの電話から「もしもし、いのちの電話です 心がつらいとき開く本」と最近の広報誌・機関紙などをお渡ししました。会場入り口のソファで資料を熱心にお読みいただき、ご寄付を頂いたお客様も多数いらっしゃいました。ありがとうございました。

(事務局長: 兼田)



賛助会員コーナー・リレーメッセージ

「命をつなぐ人の輪」

株式会社 交輪社 取締役会長 山下 藤 雄



8年位前の事、ある地方の警察署から「貴社の退職者だが自殺未遂から保護をした、貴社を頼っているので相談に・・・」と会社に電話があり一同びっくり。退職後数年経っているのに何故と思いつつ結局相談に乗ることに、緊迫した人の生死に係る相談など考えた事も無くどう対処すべきか、ただ躊躇するばかりだった。

友人の紹介で「いのちの電話」との関わりが始まりまだ日は浅いものの昨今、年代関係無く人間社会の本来あるべき人のコミュニケーションが取

り辛く、孤立者が益々増える様な世の中で神経を研ぎ澄ませ365日、24時間体制で活動されておられる皆様にただただ感服し尊敬の念に堪えません。弊社は自動車部品販売会社で「親切、信頼、社会連帯」を理念とし、会社名の如く「輪」を根幹とし自己啓発に励んでいる会社です。今後更に経験を活かし社員一同と「命の尊さ」を考えそれを共有して貴協会の活動へ微力ながらこれからもご支援してまいりたいと思っております。

事務局 だより

4月から始まった2019年度もすでに4分の1が過ぎ、愛知いのちの電話協会も発足34周年を迎えました。9月8日には自殺予防学会・自殺予防シンポジウムがあり、その準備にボランティアの皆さんがご尽力いただいています。

来年の春には、相談件数が50万件に達する見込みです。必要とされる利用者さんにつながるいのちの電話を目指したいと思います。

ご援助
ありがとう
ございます

2018年12月1日から2019年3月31日までに下記の方々から暖かいご支援をいただきました。一同、深く感謝いたしますと共にご報告を申し上げます。(順不同・敬称略)
なお、上記期間内に何度もご支援くださったかたもお名前は1回にさせていただきます。

社会福祉法人愛知いのちの電話協会 理事長 小山 勇/財務委員会

法人会員・寄付

愛知トヨタ自動車株式会社 大同メタル工業株式会社 株式会社杉浦製作所 株式会社ボンタイン珈琲本社	岡谷鋼機株式会社 トヨタ自動車株式会社 株式会社榎屋 社会福祉法人中部善意銀行	川北電気工業株式会社 トヨタ車体株式会社 株式会社東海理化 特定非営利活動法人イエローエンジェル	小島プレス工業株式会社 株式会社オテイクス 株式会社豊田自動織機
---	--	---	--

賛助会員 A

榎本和 宮之原弘	岡島博司 渡辺邦俊	岡田庸男	塩田保	下谷定司	梨本將代	野田正文	高田研至 匿名1名
-------------	--------------	------	-----	------	------	------	--------------

賛助会員 B

青山玄 島しづ子	浅井恵子 須藤はる子	浅井俊雄 平野義明	伊藤まり子 細川拓	太田真知子 堀江和史	粕谷靖彦 吉田由美子	加藤明宏	塩野 高子
-------------	---------------	--------------	--------------	---------------	---------------	------	-------

賛助会員 C

青木恵子 塩野貞美 水谷敦子	飯塚重五郎 泰良真理子 水野真	石川とみ子 高橋アヤ子 柳生多球子	小笠原覚 竹内宏子	菊地幸子 中出智恵子	河野和子 中野悦美	近藤直枝 早川定子	佐藤尚江 本多恵実
----------------------	-----------------------	-------------------------	--------------	---------------	--------------	--------------	--------------

寄付協力団体

宗教法人建中寺 宗教法人寂光院 学校法人南山幼稚園 学校法人金城学院 聖心同窓会東海支部	公益財団法人あすてボランティア 名古屋学院大学キリスト教センター 日本基督教団金城教会社会福祉委員会 日本キリスト教団愛知教会女性の会 日本基督教団名古屋北教会	特定非営利活動法人イエローエンジェル 日本キリスト教団北教会ナルドの会 日本基督教団南山教会婦人部 日本基督教団名古屋中央教会
--	--	--

寄付・個人

栗田昌子 杵山達雄 小野宏 佐野美奈 高橋紀代子 野々村樹美代 宮木靖子	安部千恵子 大山卓 加藤峯子 志村澄江 土屋百合子 平尾泉 村井美智子	石原容子 岩川富子 兼田智彦 白崎満喜子 中谷聖子 藤田千勢 柳生多球子	一本木康二 大塚早苗 亀谷みどり 鈴木栄子 西野友英・三緒子 堀江和史 山田初代	出岡知子 小栗厚紀 木村みや子 鈴木郁雄 鈴木郁雄 西村清 松本勝正 ヤマダレイコ	伊藤智美 岡田和子 小坂橋秀行 鈴木豊 西村清 松本勝正 渡邊和郎	伊藤まり子 小川義雄・マリ子 榊直樹 谷口明 西本信治 水谷吉子 渡辺直人	伊藤美佐子 佐々木広子 高島史弘 丹羽咲江 宮内英夫 匿名3名
--	---	--	--	--	---	---	--

クリスマス募金・歳末募金

日本基督教団豊山教会 日本基督教団岡崎教会 日本基督教団熱田教会めぐみ会 日本基督教団豊田教会 日本聖公会一宮聖光教会 愛知聖ルカ教会	日本キリスト教会名東教会友愛会計 日本キリスト教団半田教会 カトリック半田教会 日本聖公会名古屋聖マタイ教会 幼き聖マリア修道会 金城学院キリスト教センター	日本基督教団中京教会 日本基督教団広路協会 日本基督教団南山教会 カトリック五反城教会 瀬戸聖書バプテスト教会	日本キリスト教団愛知守山教会 カトリック小牧教会 カトリック日比野教会 新生幼稚園 ドミニコ会聖ヨゼフ修道院
--	---	---	--

いつも温かいご支援を誠に有難うございます。本当に感謝を申し上げます。
毎年ご寄付をしてくださる賛助会員を募集しています。ご協力をよろしく願っています。
定期的に一般寄付を随時受け付けておりますので、振込用紙を同封させていただきます。

- (1) 法人賛助会員 (年間1口) A 20万円 ・ B 10万円 ・ C 5万円
- (2) 個人賛助会員 (年間1口) A 10,000円 ・ B 5,000円 ・ C 3,000円
- (3) 一般寄付を随時受け付けております。
- (4) 夏季及び歳末・クリスマスの特別寄付を随時受け付けております。

口座名 : 社会福祉法人愛知いのちの電話協会
 銀行口座番号 : 三菱UFJ銀行大津町支店(普) 477029
 郵便振替口座 : 00810-8-53758
 寄付金は、社会福祉法人として税法上優遇措置が受けられます。

